

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和 5 (2023)年度
----	---------------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
できるだけ早い段階で認知症による症状の悪化防止を図ることで、認知症やその疑いのある人に対する総合的な支援をします。認知症総合支援事業として、「認知症初期集中支援チームの運用」、「認知症地域支援推進員の配置」、「認知症ケアパスの充実」、「認知症カフェの拡充」などに取り組んでいます。コロナ禍での取組となり、認知症カフェなどは制限を受けましたが、アフターコロナになり、今後も各種施策の充実に努めていきます。 またチームオレンジの構築として、三好丘緑地域の住民が主体となり、「チームみどりんオレンジ」として令和 4 年度に本市初の地域住民主体のチームが誕生しました。
自己評価結果
認知症カフェについては、みよし市全域をひとつのエリアとしてとらえ、エリア内に雰囲気や役割、内容が異なるカフェを増やすことを方針として、量的拡大に努めました。 令和 5 (2023)年度 認知症カフェ開催回数 6 8 回 認知症カフェ参加延べ人数 5 9 0 人 コロナ禍ということもあり計画値を高い水準に決めづらい状況であったが、アフターコロナの開催回数・参加延べ人数ともに計画値を上回る結果となった。
課題と対応策
コロナ禍で対面のコミュニケーションが出来なかった反動もあり、認知症カフェをはじめとする対面コミュニケーションへのニーズはかつてないほど高まってきている。今まで以上に周知することにより、開催回数・参加延べ人数の増加が期待できるため、広報啓発活動を継続的に実施していく。